

中学校第2学年 保健体育科学習指導案

1 単元名 保健編4章 健康な生活と疾病の予防② 3. がんの予防

2 本時のねらい

「がん」の発生要因や予防方法、検診の有効性などについて深く理解することを通して、自分や家族の健康と命の大切さについて考え、がんの予防について自分の考えをもつことができる。
(思考・判断・表現)

3 本時の展開

進	学習内容 「・」予想される生徒の思考	◇教師の指導 ※留意事項
導入	<p>1 課題づくり・講師紹介 前時の振り返りを交流する。 ・実は「がん」のリスクの高い生活をしているかもしれない。がんのリスクを下げる生活習慣は何だろうか？ ・検診にかかる費用や有効性は、実際どうなのかな？ ・専門家の話を聴いて、自分にできることを考えよう。 ・今日は、外部講師に直接質問できるよい機会だ。</p> <p>「がん」について正しく理解し、がんを予防するためにできることを考えよう。</p>	<p>◇前時学んだことや事前アンケートについて振り返ること、「がん」について抱いた疑問や予防法について学ぶことの必然をもつことができるようにする。 ※振り返りと関わらせて外部講師（専門医・がん経験者）お話いただくことで、より深く学ぶことへの期待感を高められるようにする。</p>
展開	<p>2 調べ学習 がん予防について家族向けの改善プランを立てよう。 ①「がん検診」受診率向上プラン。 ②がんリスク低減生活習慣改善プラン。 2つのチームに分かれて、問題点の洗い出しと、家族へ向けた改善プランの立案を行う。</p> <p>①問題点と改善プラン ・世論調査の「がん検診未受診の理由」に、がん検診受診率向上につながるヒントがありそうだ。 ・私の家族は、学校でがんについて学んでこなかった世代だから、私が正しい情報を家族に伝えるぞ。</p> <p>②問題点と改善プラン ・がんの種類によって、リスクを下げるために気を付けるべき生活習慣が違うんだな。 ・我が家は、〇〇の傾向があるから、〇〇を増やして(減らして)、リスクを下げるように提案しよう。</p> <p>3 各グループの発表 他チームの発表を聞き、多面的・多角的に考える。</p> <p>4 講師からの助言 がんの予防に効果的な取組について理解を深める。</p>	<p>◇事前アンケートから把握した生徒の疑問や不安に感じることなど、あらかじめ講師に伝えておき、グループの調べ学習に意図的に関わっていただけられるようにする。 ◇調べる内容ごとに参考WEBサイトをまとめておき、情報の整理により多くの時間を使うことができるようにする。 参考：国立がん研究センター ：がん情報サービス ◇具体的な場面を想起できるように問いかけ、自分の生活とつなげながら考えることができるようにする。 ※家庭の事情によって現状では難しいこともあるため、「すぐに取り組みたいこと」「今後大切にしたいこと」に整理して考えるようにする。 ◇全体で交流した内容に対して、講師から感想や助言をしていただく。</p>
まとめ	<p>5 振り返り(学びをつなげる) ・がんの予防には、適切な生活習慣や早期発見のためのがん検診などが効果的だということが詳しく分かった。 ・がんになるリスクが高くなるのに、私の家族は喫煙をしている。私や家族が「がん」になりにくくするために、今晚、禁煙について家族に話をしよう。 ・早期発見すれば95%の人が治る可能性があるのに、受診率が50%以下なんて信じられない。案内のはがきが届いていたから、がん検診を受けるように話をしよう。そして、私も時期が来たら必ず検診を受けよう。</p>	<p>◇がんの予防について家庭で話すことをワークシートにまとめることによって、自分や家族の実態を踏まえ、健康の大切さについて主体的に考えることができるようにする。</p> <p>【評価規準】思考・判断・表現 がんの予防方法を基に自分や家族の生活を振り返り、がんの予防のために取り組みたいことをまとめている。</p>